

# 感覚から世界を編み直す

## ～アートとケアの未来～

講師：崎川 修さん（ノートルダム清心女子大学 教授）

ケアを学ぶことは、決していわゆる「ケアワーカー」の専門的な知識や技術を身につけることではありません。ケアは私たちが人間として生きていくために与えられた可能性であり、時代を超えて引き継がれてきた「文化」です。高度な科学文明のもとで複雑に絡み、悩み多き現代の日常を生き抜くために、今や私たちの誰もが「ケア」の視点を備え、人と世界のあり方を見つめなおしていく必要があると思われます。

今回はケアにおけるアート、すなわち芸術の果たす役割や意義に着目します。古来人間は、生きることの苦悩に向き合い癒しを共有する技法(art)として、音楽や演劇、絵画、文学といった創造活動を生み出してきました。近年ではケア的な価値観・世界観に基づくアート作品が注目されていますが、他方で私たちがアートに触れる仕方は、高度情報化社会の進展によって大きく変化しつつあります。心と身体、そしてコミュニケーションを取り巻く環境変化の中で、芸術はいかにして私たちの「感覚」に働きかけ、苦悩を癒すことができるのかを、ご一緒に考えたいと思います。

日時：2月26日(日)14:00～16:30(13:00  
から入室できます)

場所：ZOOMによるオンラインミーティング

参加費：一人 1,000円

(入金後のキャンセルは、ご容赦ください。)

申込み方法：次の peatix アドレスから申込み、各自  
が選択された方法で事前にお申し込みください。

<https://begleiten230226.peatix.com/>

Zoom の URL:

お支払い確認後、2月26日

12:30～13:00 に Zoom の

URL、ID、パスワードを、

個別にご連絡します。

Zoom を利用されたことのない方は、使用方法を  
お伝えします。お申し込み時にお知らせください。



これまでの内容：

1回目 ケアを学ぶ 生きるための哲学

2回目 依存と共存=ケアとアディクション

3回目 家族とケアの風景～物語から身体へ～

略歴 1971年 東京生まれ 上智大学大学院哲学  
研究科博士後期課程満期退学 2009年 上智大学  
文学部哲学科常勤嘱託講師(キリスト教人間学担  
当) 2013年 ノートルダム清心女子大学人間生活  
学部に着任(現在に至る)専門は現代哲学、人間  
学、キリスト教倫理。

著書：『他者と沈黙～ウィトゲンシュタ  
インケアの哲学へ』(晃洋書房)・『教養  
としての応用理論学』(共著・丸善出版)

主催：ベグライテン

<http://begleiten.org/>

<https://twitter.com/Begleiten2001>

<https://www.facebook.com/begleiten2>

問合せ・連絡先：関根和彦 090-9146-6667

[k\\_sekine@f7.dion.ne.jp](mailto:k_sekine@f7.dion.ne.jp)